

令和2年度 居宅介護支援事業所やすらぎの里 ケアマネジャー(介護支援専門員)満足度調査の 集計結果を報告致します!

発送数:126通 回収数:73通 回収率:57.9%

質問内容	はい	いいえ	はい、いいえ	無回答	
1 担当ケアマネジャーの顔と名前を覚えていましたか	69	2	1	1	担当ケアマネジャーの名前と顔を覚えていただき、ケアマネジャーの役割を理解していただけるように、今後もより一層努めてまいります。
2 担当ケアマネジャーは十分話を聞いてくれ困っていること等を一緒に考えてくれますか	73	0	0	0	ご本人とご家族の話を十分に伺い、困っていることが解決できるように、必要な情報を提供しながら、今後も一緒に考えてまいります。
3 本人や介護者に急な状態変化が生じた時、速やかに対応してくれましたか	61	1		11	ご本人様やご家族様の急な体調の変化等が生じた時は、いつでもご相談ください。速やかに対応してまいります。
4 ケアプラン(サービス計画書)は本人や家族の意向をくみ取ったケアプランになっていますか	72	1		0	ご本人様やご家族様の意向をふまえ、自立支援につながるケアプランを作成するように、より一層努めてまいります。
5 ケアプラン(サービス計画書)を作成するに当たり、ケアマネジャーから介護・医療・制度等の専門的なアドバイス(助言)を受けていますか	67	1		5	いただいたご意見を真摯に受け止め、今後とも皆様安心して日常生活を送るために、毎月研修を行い、知識や技術をより一層深め、専門的なアドバイスができるように努めてまいります。
6 介護サービスの利用料金について説明がありましたか	64	5		4	ご説明が不十分で、ご迷惑をおかけしております。頂いたご意見を真摯に受け止め、不利益を被らないように、十分にご説明してまいります。
7 介護保険サービスを利用して、本人の身体状況、精神状況、生活環境などは変わりましたか	44	1	21	6	ご本人様の状態が維持、向上できるように、どのような支援が適切か、今後とも一緒に考えてまいります。
8 介護保険に関する市町村の申請手続き等を必要に応じてケアマネジャーが代行できることを教えてもらいましたか	61	6		6	ご説明が不十分で、ご迷惑をおかけしております。いただいたご意見を真摯に受け止め、十分にご説明し、必要に応じて申請代行を行ってまいります。
9 苦情の申し立て窓口があることを教えてもらいましたか	56	13		4	ご説明が不十分で、ご迷惑をおかけしております。いただいたご意見を真摯に受け止め、十分にご説明し、皆様の権利を侵害しないよう努めてまいります。

いただいたご意見を真摯に受け止め、皆様や地域にとって必要とされる介護支援専門員になれるよう研鑽を重ねてまいります。今後ともよろしくお願い致します。ご協力ありがとうございました。

通所型サービスA「しゃきつと」「いこうて」の紹介をします!!

平成30年の7月にスタートした介護予防サービスの「しゃきつと」「いこうて」も、まもなく3年を迎えようとしています。このサービスは2時間(いこうては3時間)という短時間で気軽に地域の方との交流ができたり、体操や機械トレーニングといった運動を職員見守りのもとで行えるとのことで、利用されている方からは大変好評いただいております。また、「いこうて」では昼食の提供もしており、バランスの取れた美味しい食事がとれるとのことで、ご利用者から「うまかった」「家では食べないものも出てきて楽しみもある」といった声が聞かれております。今後も地域に根づくサービスの1つとして、利用される方々の介護予防の手助けができればと思っております。



研修委員会の取り組みとPR動画について

法人内の委員会である研修委員会(採用・育成チーム)では学生などを対象とした採用活動に関する取り組みや新採用職員の育成に関する取り組みを中心に活動しています。私たちの法人で働きたい、また安心して長く勤めたいと思ってもらえるように毎月委員会を開催し、計画、立案を行っています。

この度、初の試みとして法人のPR動画を作成しました。学生参加の企業説明会での使用や法人のホームページからの情報発信として活用していく予定です。作成にあたって各部署や事業所、また新採用職員にも協力を依頼し撮影を行いました。初めての撮影で緊張したり、撮り直しを行ったりと苦労する部分もありましたが、良い内容の物が出来上がりました。是非、当法人のホームページよりご覧ください。



モバイルサイトにもアクセス!

新型コロナウイルス感染症 緊急包括支援事業により 施設設備を整えました。



感染予防対策のための机の購入、カーテン・パーティションの設置。



ハンドソープディスペンサー、温水器の設置。



空気清浄機、オーバーベッドテーブルの購入。

入退館管理のための防犯カメラの設置。

その他、マスク・プラスチックエプロン・アルコール消毒も購入いたしました。

特養やすらぎの里 胃腸炎発生についてのお詫び

12月に、特別養護老人ホームやすらぎの里で発生いたしました胃腸炎により、ご利用者、在宅サービスご利用者、ご家族及び多くの皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことをこの場をかりて深くお詫び申し上げます。

当施設では、新型コロナウイルス感染症及び感染症に対する予防策を行ってまいりましたが、12月上旬より、長期入所のご利用者、並びに職員にも胃腸炎が蔓延し、終息まで時間を要することとなりました。1月中旬に胃腸炎は終息いたしました。

初心に立ち戻り、感染症予防対策、感染拡大防止に取り組み、皆様に安全にそして安心してご利用していただける施設となるように努めてまいります。



編集後記

今年度も燦燦ねっとをご愛読いただきましてありがとうございました。2020年はコロナ、コロナの1年でした。テレビをつける毎日悲しいニュースが流れておりましたがそんな中でも職員はご利用者様から沢山の元気と勇気を頂いておりました。感謝申し上げます。そして、このような状況でも春の足音はだんだんと近づいて来ています。今年の冬は雪が沢山降り積りましたがその冬ももうすぐ終わりを迎えようとしています。1日も早くきれいな「桜」を見られる日が来るといいですね。

発行 〒949-4353 〒949-4397(専用番号) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西660番地1 社会福祉法人中越老人福祉協会 特別養護老人ホームやすらぎの里 TEL:0258-78-3311 編集者 やすらぎの里広報委員会

令和3年3月1日発行

- ・やすらぎの里 安全祈願祭
- ・各事業所トピックス
- ・ケアマネジャー アンケートの集計報告 等々

第60号



「燦燦ねっと」は 特養やすらぎの里・短期入所事業所・居宅介護支援事業所・出雲崎町デイサービスセンター・デイサービスセンター紙ふうせん・グループホームかめさんの家のPR誌です。

デイサービスセンター紙ふうせん



今年の節分は、124年ぶり2月2日でした。紙ふうせんでは、節分豆まき行事を行い、鬼に豆(実際は、お手玉)を投げ、無病息災などを祈りました。

ホームページアドレス <http://chuetsu-roufukukyo.com>



モバイルサイトにもアクセス!

特養 やすらぎの里

2月2日(火)に豆まきが行われ、皆様、玉を投げ一生懸命鬼退治をされていました!

豆まき



特養 やすらぎの里 新年安全祈願祭

1月21日(木) 特養やすらぎの里で新年安全祈願祭を執り行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する為例年と異なる形式とはなりましたが、二田物部神社宮司三嶋様から無病息災、交通安全、疫病退散等祈願して頂きました。今年も一年、努力を惜しまず日々の業務にあたっていきたいと思っております。



短期入所事業所 ときユニット お正月風景

ショートステイのご利用者と手作りのやすらぎ神社に参拝しました!



出雲崎町デイサービスセンター

～新春すごろく大会～

今年はお趣向を変えて!? デイサービスのホール全体を使った巨大すごろくゲームをしました(△△)/ いろんなお題に挑戦し、笑い声のたえない時間となりました!

笑門には福来たる(△▽△)!!!



デイサービスセンター紙ふうせん



～鬼は外! 福は内!～
迫力ある鬼が登場すると、利用者様はいつも見せないパワーを発揮し、鬼退治(〇〇)/ にぎやかな節分行事になりました。

グループホームかめさんの家

～まゆ玉作り～

今年1年が良い年になりますように... 願いを込めてご利用者と一緒まゆ玉を飾りました。



～節分～

今年も緑鬼がやってきました!! 豆に見立てた新聞紙の玉を投げ、鬼を追い払いました。悪いものが去り、たくさんの福が来るといいですね。



ある日のちょっとした話



みなさんは認知症や障害のある方は、職員にお世話してもらうばかりじゃないかと思いませんか? いえいえ、私たちのちょっとしたお手伝いで出来る事はまだまだたくさんあるんです。そして、何気ない日常生活の中で職員もご利用者の方から色々な事を教わり、気づかされ、時には氣遣って頂いたり、また感動を受け取ったり... そんな瞬間が私たちにとても嬉しく、この仕事を続けていく原動力になっています。各事業所でのそんな“ちょっとした話”を紹介したいと思います。

特養 やすらぎの里

星ユニットのちょっとした話



ある日の朝、私が出勤し「おはようございます」と朝の挨拶をすると私よりも元氣な大きな声で「おはようございます!」とお辞儀をし満面の笑顔で答えてくれたO様。つられて私も笑顔になりました。

～職員コメント～

毎朝行われる何気ない日常の挨拶。つつい無表情になってしまっていた自分に気づき元気をもらった瞬間でした。笑顔を忘れず、ご利用者様に寄り添った支援を心掛けて行きたいです。



遠藤良章 看護室長

空ユニットのちょっとした話



ある日のお昼。ご利用者が昼食を待っていると食堂にてT様が「どうすればいいんだいね?」と不安そうに何度もおっしゃる声が聞こえてきました。それを聞いていた向かいの席のK様とY様が「そのままそこで待ってればいいんだよ!」とT様に何度も声を掛けていました。T様はそれを聞いて「そうだね。ありがとね」とおっしゃっていました。

～職員コメント～

“どうしていいかわからない”という事は誰でも不安な気持ちでいっぱいになるものです。K様とY様は不安な気持ちでいっぱいなT様の想いに寄り添っておられ、そんな光景を見て温かい気持ちでいっぱいになりました。



山田祐介 介護職員

いかがでしたか? 日々の生活の中に、心温まる出来事がたくさんあります。また、次回をお楽しみに!!

